

Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency

# CASBEE札幌



## 重点項目 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE\_Sapporo2014v1.2

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2014(ver.1.3)

1 建物概要		BEE	1.6	BEEランク	A
建物名称	パークホームズ大通公園コンフォートプレミア	総合評価 ★★★★★			
建物用途	集合住宅				
延床面積	2,420.53 m <sup>2</sup>				

### 2 重点項目への取り組み

地球温暖化対策	<b>最重点項目</b> <b>省エネルギー</b>	★★★★★
	<b>省資源等</b>	★★★★☆
	<b>緑化</b>	★★★★★
	<b>雪処理</b>	★★★★☆

### レーダーチャート

この建物は特に  
**緑化への取組**  
が優れています

### 3. 設計上の配慮事項とCASBEEスコア

A 省エネルギー		合計	19点	/24点
Q1 温熱環境	スコア 0.0	LR1	建物外皮の熱負荷抑制	スコア 2.0
Q1 光・視環境	スコア 5.0	LR1	自然エネルギー利用	スコア 1.0
		LR1	設備システムの高効率化	スコア 9.0
		LR1	効率的運用	スコア 2.0
B 省資源等		合計	16点	/23点
Q2 耐用性・信頼性	スコア 1.0	LR2	非再生性資源の使用量削減	スコア 5.0
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 1.0	LR2	汚染物質含有材料の使用回避	スコア 2.0
		LR3	地球温暖化への配慮	スコア 4.0
		LR3	地域環境への配慮	スコア 3.0
C 緑化		合計	12点	/16点
Q3 生物環境の保全と創出	スコア 3.0	LR3	地域環境への配慮	スコア 2.0
Q3 まちなみ・景観への配慮	スコア 6.0			
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 1.0			
D 雪処理		合計	2点	/3点
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 0.0	LR3	地域環境への配慮	スコア 2.0

### 4 設計上の配慮事項

A 省エネルギー		
<ul style="list-style-type: none"> <li>日本住宅性能表示基準の省エネルギー対策等級3を取得している。</li> <li>効率の優れた潜熱回収型給湯設備の使用など、省エネルギー効果が期待できる設備を採用している。</li> </ul>		
B 省資源等	C 緑化	D 雪処理
<ul style="list-style-type: none"> <li>乾式間仕切、断熱材のウレタン吹付等、分別を比較的容易にしている。</li> <li>ODP=0、GWP&lt;10の断熱材を使用している。</li> <li>地球温暖化対策の取組みによりLCCO<sub>2</sub>排出率が74%となっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基調となる樹種は、耐陰性・耐寒性のある常緑針葉樹を用い、冬の緑量確保に配慮している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>十分なゴミステーションスペースを確保している。</li> <li>敷地内及び一部歩道をロードヒーティングとし、冬期間の除排雪作業の軽減に努めている。</li> </ul>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される